

チーム名	チームうさびよん	大学名・学部	明治大学 農学部	焼津ステージ
プラン名称	やいチルProject ～あなたと温泉の距離、チルで近づけてみない？♡～			
テーマ	「焼津温泉」を活かした持続可能な「観光まちづくり」			
リーダー名	長谷川和哉	メンバー名	長谷川和哉 菅原竜也 田中美羽 増永朱莉 横田梨香子	
指導教職員名	本所靖博			

## 静岡県焼津市の現状

焼津市の一般的イメージ



焼津市の課題

聞き取り調査と市民意識調査より、“提案プランにおける問題認識”を右の5つに集約した。

- 温泉のイメージが薄い
- 魚中心の発信
- 地元愛の醸成不足
- 焼津に来るきっかけが少ない
- 観光地として知名度が低い

このプロジェクトで目指す焼津像

- 焼津温泉の街のイメージ定着
- 地元愛あふれた活気ある市民
- 観光客増による経済の好循環
- 多様な地域資源に注目が集まる

## 問題の解決策

### プロジェクト概要 焼津×チル

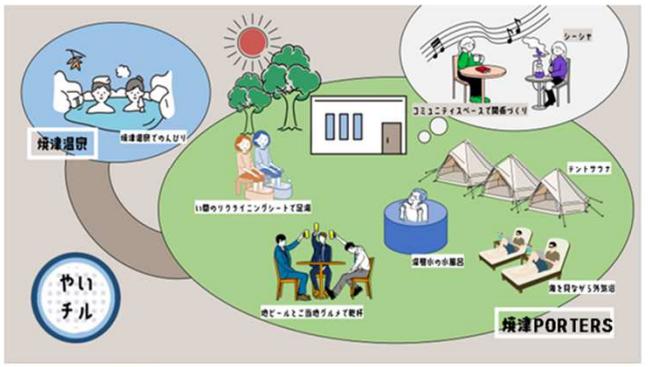
**やいチルProject**  
あなたと温泉の距離、チルで近づけてみない？♡

<b>焼津の地域資源</b> 温泉 足湯 い草 魚などの食	×	<b>チル</b> 地域資源や市民性との親和性 現代のトレンド
---	---	---------------------------------------

## 実現計画



焼津PORTERSと3つの日帰り温浴施設でそれぞれのクーポンを配布し、各所に訪れるきっかけをつくる事で回遊性を高めると同時に各施設で「チル」を提供。街単位で「チル」を体感すると共に焼津温泉＝チルというイメージを定着させる。



### 第1段階 地元愛醸成

ターゲット：焼津市の20～30代  
「チル」を通じて人を呼びたい街として認識してもらう焼津PORTERSで“温泉×チルイベント”を単発で定期的に開催

### 第2段階 全国発信

ターゲット：全国の20～30代  
「チル」な地域・温泉としてキャラクター付けをし全国発信焼津PORTERSで“温泉×チルイベント”を常設

## 運営体制とステークホルダー



## 新規性

まち単位でのチル空間を作り出す観光まちづくり

- 地元の人が地元を知って好きになる
- 新しい生活様式と観光のコラボ
- 観光資源だけでなく市民性も活かした観光まちづくり
- 観光地ではない観光地

## 実現した場合の効果

### 2年間での経済効果予想

第1段階（1年目）： 1080万円  
第2段階（2年目）： 1億800万円

**合計：1億1880万円**